

14.21

278

宮崎県肥料要報

大正元年

国立国会図書館



始



195-4

14.21  
278

14  
278

元年 宮崎縣肥料要報目次

一、肥料需要供給ノ概況	一頁
二、肥料營業者調	二頁
三、肥料製造高調	四頁
四、肥料需要高調	四頁
五、肥料共同購入調	六頁
六、堆肥舍建設調	六頁
七、農家戸數對堆肥舍數調	三頁
八、綠肥栽培調	三頁
附 錄	
一、肥料取締法	一頁
二、肥料取締法施行規則	五頁
三、肥料取締法施行細則	五頁
四、肥料取締法第八條ニ據ル指定肥料	三頁



### 一、肥料需要供給ノ概況

大正元年ニ於テ本縣農家ノ購入シタル肥料ノ總額ハ參百八拾五萬五千餘貫ニシテ此價額百貳萬八千八百五拾參圓ニ達シ之ヲ本縣ノ耕地作付反別九萬八千五百拾町歩ニ平均スレバ一反歩ニ對スル價額壹圓五錢ニ相當セリ。

而シテ之ヲ十年前以前ノ狀況ニ對比スルニ販賣肥料ノ需要高ハ約三倍ノ増加ヲ示セリ右ノ外農家自ラ生産シテ施用セシ堆肥、廐肥、綠肥、人糞尿、灰類及其他ノ雜肥ヲ計算スルトキハ約參百餘萬圓ニ達スルヲ以テ實際本縣ニ於テ施用スル肥料ノ價額ハ四百萬圓ヲ超過シ耕地一反歩ノ平均施用高ハ四圓以上トナルヘシ。

縣下ニ於テ販賣肥料ヲ最モ多ク施用スルハ北諸縣郡ニシテ耕地一反歩平均壹圓五拾錢ニ達シ之ニ次クヲ兒湯郡ノ壹圓四拾錢、西諸縣郡ノ壹圓拾錢、東白杵郡ノ九拾八錢、宮崎郡ノ九拾六錢、南那珂郡ノ八拾壹錢、東諸縣郡ノ五拾錢トシ最モ少キハ西白杵郡ノ八錢ナリトス。

而シテ本縣ニ於テ施用スル販賣肥料ハ獸骨粉ヲ最多トシ其ノ價額七拾壹萬餘圓ニシテ總需要高ノ約七割ニ相當シ之ニ亞グヲ過磷酸石灰ノ約拾四萬圓及調合肥料ノ約九萬圓トシ其他大豆粕ノ約四萬圓、菜種油粕ノ貳萬圓等ヲ主ナルモノトス。獸骨粉ノ

需要ハ斯ク多額ニ達スルニモ拘ラス本縣ニ於テ製造セラル、ノ總價ハ僅カニ拾貳萬圓内外ニ過ギス之レ到底其ノ需要ニ應スコト能ハサルヲ以テ其ノ大部分ハ鹿兒島縣ヨリ輸入セラレ其他兵庫、大阪、大分等ノ諸府縣ヨリ供給ヲ受ケツ、アルノ現況ナリ、尙ホ過燐酸石灰、調合肥料及大豆粕等ハ悉ク大阪、兵庫、岡山ノ各府縣ヨリ之カ供給ヲ仰キ菜種油粕ハ其需要甚タ多カラサルニヨリ殆ンド本縣ノ製品ヲ以テ之ニ充テ只僅カニ清國及印度産等ノ輸入アリ。

斯ク本縣ニ需要セラル、販賣肥料ハ主ニ燐酸質肥料ニシテ窒素質及加里質肥料ノ多クハ自給肥料ヲ以テ之ニ充ツルノ状態ナルハ甚ダ喜ブベキ現況ナリト雖漸次自給肥料ニ不足ヲ告グルノ傾向アリテ窒素質肥料モ亦販賣肥料ヲ以テ之ヲ補ハントナルノ趨勢ナルガ故ニ農業ノ進歩發達ニ伴ヒ窒素質燐酸兩質販賣肥料ノ需要ハ今後益々増嵩スルコト炳ナリ。

二、肥料營業者調 (大正元年)

郡名	製造		買		計
	免許	廢業	免許	廢業	
宮崎	1	1	1	1	3
南那珂	1	1	1	1	3
北諸縣	1	1	1	1	3
西諸縣	1	1	1	1	3
東諸縣	1	1	1	1	3
兒湯	1	1	1	1	3
東臼杵	1	1	1	1	3
西臼杵	1	1	1	1	3
合計	1	1	1	1	3

年	全	全	全	明治	合計	宮崎		南那珂		北諸縣		西諸縣		東諸縣		兒湯		東臼杵		西臼杵	
						免許	廢業	免許	廢業	免許	廢業	免許	廢業	免許	廢業	免許	廢業	免許	廢業	免許	廢業
十四年	18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十三年	33	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十二年	33	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十一年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
九年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
八年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
七年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
六年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
五年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
四年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
二年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
一年	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	102	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

三、肥料製造高調 (大正元年)  
 一、動物質肥料  
 1、魚肥類

肥料名稱	郡	名	數	量	價	額
干鰹	宮	東	計	二、〇四八		五二二
鱈鱗	東	白	計	一〇		二
鯉干	東	白	計	二、〇五八		五一四
鯉干	東	白	計	七五一		二八九
鯉干	東	白	計	七五一		二八九
鯉干	東	白	計	四一五		一一八
鯉干	東	白	計	四一五		一一八
鯉干	東	白	計	二六四		五五

獸骨粉	口、骨、角、蹄、類	合計
宮	北	計
諸	諸	
西	諸	
兒	湯	
東	杵	
宮	崎	
計	計	三、四八八
細工骨粉		二六四
宮		九七六
計		五五

五

四



肥料名稱	郡	名	數	量	價	額
植物質肥料合計		計		六二、八三四 <small>貫</small>		一六、六四七 <small>円</small>
三、調合肥料						
肥料名稱	郡	名	數	量	價	額
下印調和肥料第五號	宮	崎		一、三〇〇 <small>貫</small>		三八九 <small>円</small>
調合肥料合計	合計			一、三〇〇		三八九

四、雜肥

肥料名稱	郡	名	數	量	價	額
人造堆肥料	北	諸		四、八五〇 <small>貫</small>		三八八 <small>円</small>
雜肥合計	合計			四、八五〇		三八八
總計				五四八、九八五		一四一、四五七
明治四年	四	十		五〇三、一〇〇		一二三、三〇八
全	四	十		五三五、二八九		一二五、五四九
全	四	十		四八七、一四六		一三一、五四八
全	四	十		四二二、二八四		一四五、五三二
五	夕	年	平均	四九七、三六一		一三三、二七九

四、肥料需要高(農家購入高)調 (大正元年)

一〇

郡名	鯉		魚類		魚		肥		蠶		蛹	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
宮崎	1	1,500	1	750	1	1	1	1	1	1	1	1
南那珂	1	1,725	1	3,693	1	1	1	1	1	1	1	1
東白杵	1	6,936	1	3,373	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	3	25,651	3	7,816	3	1,350	3	3,999	3	9,358	3	6,566

其二、

郡名	數量	價額
兒湯	1	1
東白杵	1	1
合計	2	2

其三、

郡名	雞		糞		獸骨粉		獸蹄角粉	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
宮崎	1	1	1	1	1	1	1	1
南那珂	1	1	1	1	1	1	1	1
東白杵	1	1	1	1	1	1	1	1
西諸縣	1	1	1	1	1	1	1	1
北諸縣	1	1	1	1	1	1	1	1
南諸縣	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	6	6	6	6	6	6	6	6

一一



郡名	兒湯	東白杵	西白杵	合計	雞糞		獸骨粉		獸蹄角粉	
					數量	價額	數量	價額	數量	價額
宮崎	1	1	1	3	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫
北宮										
北嶺										
合計	1	1	1	3	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫

其四、

郡名	北嶺	南宮	西嶺	合計	鯨骨粉		魚骨粉		以上動物質料肥總計	
					數量	價額	數量	價額	數量	價額
宮崎	1	1	1	3	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫
北宮										
北嶺										
合計	1	1	1	3	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫

郡名	西嶺	東白杵	兒湯	東嶺	西嶺	合計	菜種油粕		大豆粕		米	糠
							數量	價額	數量	價額		
宮崎	1	1	1	1	1	5	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫
北宮												
北嶺												
合計	1	1	1	1	1	5	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫

其五、

郡名	南宮	北嶺	合計	菜種油粕		大豆粕		米		糠	
				數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
宮崎	1	1	2	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫
北宮											
北嶺											
合計	1	1	2	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫	1貫

111

郡名	其六						部名	
	合計	西白杵	東白杵	兒湯	東諸縣	西北諸縣		北諸縣
數量	七、七、三、一	七、三、二	一	一、七、九、六、一	一、六、四、〇、五	一、七、二、五	四、三、〇、九	菜種
量							貫	量
價								價
額	一、九、六、三、九	二、二、二	一	三、八、八、〇	三、四、八、三	八、八、五	一、一、二、六	額
數量	一、七、五、七、〇、六	七、三、四、一、〇	四、七、六、八、三	四、四、〇、五	一、〇、〇	一、三、七、六、〇	一、三、七、六、〇	大豆
量							貫	量
價								價
額	四、〇、五、四、四	一、六、四、七、〇	一、〇、四、〇、九	一、五、一、七	二、五	三、八、二、九	三、八、二、九	額
數量	四、四、九、七、〇	九、八、〇	二、〇、〇、〇	四、八、〇	一	一	一	米
量							貫	量
價								價
額	三、四、三、〇、八	一、三、八	一、四、〇	四、八	一	一	一	額
以上植物質肥料總計								煉

合計	其七						宮崎			
	西白杵	東白杵	兒湯	東諸縣	西北諸縣	北諸縣				
數量	六、八、一、六、〇	一	一	一	一	一	六、八、一、六、〇	一貫		
量								量		
價								價		
額	四、一、四	一	一	一	一	一	四、一、四	一圓		
數量	五、七、五、六、〇	一	五、七、五、六、〇	一	一	一	一	一貫		
量								量		
價								價		
額	二、三、〇、一	一	二、三、〇、一	一	一	一	一	一圓		
數量	四、三、三、七、〇、七	七、三、二	一、三、一、九、五、〇	六、七、六、四、四	二、一、二、九、〇	一、八、二、五	一、八、〇、六、九	一、〇、五、五、六	一、三、五、三、六	一貫
量									量	
價									價	
額	六、七、二、〇、六	二、二、二	一、八、九、〇、九	一、四、四、二、九	五、〇、四、八	九、一、〇	四、九、五、五	九、二、〇、七	一、三、五、三、六	一圓

一五

郡名	硫酸安母尼亞							トーマス燐肥							過燐酸石灰						
	數	量	價	額	數	量	價	額	數	量	價	額	數	量	價	額					
宮崎	1	貫	1	圓	1	貫	1	圓	223,551	貫	18,428	圓	81,006	圓							
那珂	1	貫	1	圓	1	貫	1	圓	18,428	貫	48,471	圓	3,186	圓							
北諸	1	貫	1	圓	1	貫	1	圓	48,471	貫	7,352	圓	7,352	圓							
西諸	1	貫	1	圓	1	貫	1	圓	22,220	貫	4,289	圓	4,289	圓							
東諸	1	貫	1	圓	1	貫	1	圓	65,166	貫	7,440	圓	7,440	圓							
兒湯	1	貫	1	圓	1	貫	1	圓	198,242	貫	20,217	圓	20,217	圓							
東白	650	貫	403	圓	36	貫	7	圓	70,261	貫	11,063	圓	11,063	圓							
西白	1	貫	1	圓	1	貫	1	圓	29,020	貫	4,724	圓	4,724	圓							
合計	833	貫	523	圓	36	貫	7	圓	665,359	貫	140,277	圓	140,277	圓							

其八、

一六

郡名	大正元年總計							明治四十四年						
	數	量	價	額	數	量	價	額						
宮崎	357,739	貫	10,631	圓	500,110	貫	152,385	圓	462,460	貫	124,293	圓		
南那珂	11,240	貫	2,951	圓	369,235	貫	71,573	圓	351,301	貫	63,167	圓		
北諸	1	貫	1	圓	972,733	貫	294,609	圓	948,162	貫	236,796	圓		
西諸	1	貫	1	圓	466,333	貫	150,072	圓	432,190	貫	114,081	圓		
東諸	25,042	貫	6,179	圓	161,990	貫	33,587	圓	148,541	貫	30,193	圓		
兒湯	126,133	貫	34,726	圓	928,140	貫	223,235	圓	609,231	貫	163,007	圓		
東白	120,760	貫	35,603	圓	425,356	貫	98,109	圓	537,316	貫	84,448	圓		
西白	950	貫	161	圓	31,312	貫	5,283	圓	23,746	貫	4,044	圓		
合計	319,863	貫	90,251	圓	3,855,189	貫	1,028,853	圓	3,512,947	貫	820,292	圓		

其九、

一七

郡名	明治四十三年		明治四十二年		明治四十一年		最近五ヶ年平均	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
宮崎	五九〇、一八一	一〇九、四三七	一〇七、二八八	五六六、六八九	一四七、九二五	六四三、五四五	一一八、二六六	
南那珂	三六九、八〇七	六九、一六一	七三、三六四	一八四、四四三	八二、九六八	三〇二、六七七	七二、八四七	
北諸縣	七四二、一三九	二一一、五八九	二三八、六〇〇	六八八、一〇六	二〇〇、九七五	八二九、二七六	二二六、四二四	
西諸縣	三七一、七三四	一〇七、二二二	四三五、二〇五	四二二、四七六	一一八、六〇七	四三五、五八六	一一二、〇九四	
東諸縣	一八三、四四二	四〇、六五五	一六四、五七〇	三二、二五〇	四四、九九三	一七二、八二〇	三六、三三六	
兒湯	八〇九、一〇〇	二〇九、四八〇	六二三、九六六	一八五、七〇九	一九八、七四八	八〇四、七七四	一九六、〇三六	
東白杵	六〇〇、〇四〇	五九、三〇六	五一〇、八一六	九一、八二九	三六四、三九〇	四八七、五八四	九一、七二六	
西白杵	一九、二三七	三、六六三	一四、八二〇	二、八一八	一五、三九一	二〇、九〇一	三、七五五	
合計	三、六八五、六八〇	八四六、五〇三	八八一、五一四	八五五、九一三	五〇〇、五二八	八八六、一一九	六八七、一七二	

五、肥料共同購入調 (大正元年)

郡名	數量	價額	組合全體數	全上人員	共同購入ノ爲メ得タル利益金	總需要高ニ對スル共同購入ノ割合	明治十四年	
							數量	價額
宮崎	五六、九八八	二八、三三四	五七	一四三	二、八六八	二、四%	一八、六%	
南那珂	一五七、一七三	三一、五一四	六三	二、三三〇	一、七四四	四、六%	四四、三%	
北諸縣	一三八、八六一	三二、八一九	二三	一、三六〇	二、一六六	一四、三%	一一、一%	
西諸縣	一九〇、九三〇	五九、二一四	六四	二、五三九	二、六七四	四〇、九%	三九、四%	
東諸縣	六五、〇六〇	一二、二〇八	二二	一、二五〇	一、一〇三	四〇、二%	三六、三%	
兒湯	一四〇、三八四	三八、四〇九	六四	二、四七一	一、八九三	一五、一%	一七、二%	
東白杵	三六、〇二九	八、六七八	一〇	五〇三	五五三	八、五%	八、八%	
西白杵	三、七二二	五九〇	四	二五一	四九	一一、九%	一一、二%	
合計	七八九、一四七	二二一、七六六	三〇七	一、一九四六	一三、〇五〇	二〇、五%	二〇、六%	
明治十四年	八〇八、一〇一	二二四、九四二	二七八	一二、三二一	一一、六一九	二三、〇%	二六、二%	

一九

一八

六、堆肥舎建設調 (大正元年)

郡名	補助		否ラサルモノ		計		五ヶ年平均	全四十二年	全四十二年	全四十二年	全四十二年	全四十二年	全四十二年
	舎數	坪數	舎數	坪數	舎數	坪數							
南那珂	一八八	二八	二〇七	二八	三九五	一一〇	九〇九、二四	八四二、五〇〇	九二八、一五三	二二六、三三三	二二一、六三五	二二五、三六三	二二六、〇〇四
宮崎	二八	九一〇	二八二	二五	三〇〇	一五六一〇	二二六、〇〇四	二二五、五〇〇	二二六、一五三	二二一、六三五	二二五、三六三	二二六、〇〇四	
北諸縣	一三六	八一六〇	四	七一	一八〇	一一二八〇	二二六、〇〇四	二二五、五〇〇	九二八、一五三	二二六、三三三	二二一、六三五	二二五、三六三	二二六、〇〇四
西諸縣	六三	四〇六〇	九	六三〇	七二	四六九〇	二二六、〇〇四	二二五、五〇〇	九二八、一五三	二二六、三三三	二二一、六三五	二二五、三六三	二二六、〇〇四
東諸縣	一一五	五二三〇	四	四五	四四九	二〇三三〇	二二六、〇〇四	二二五、五〇〇	九二八、一五三	二二六、三三三	二二一、六三五	二二五、三六三	二二六、〇〇四
兄湯	一五七	八八七〇	二七	二二六〇	一八四	一〇一三〇	二二六、〇〇四	二二五、五〇〇	九二八、一五三	二二六、三三三	二二一、六三五	二二五、三六三	二二六、〇〇四
東臼杵	七〇	二六六七	二二	一〇九〇	九二	三七五七	二二六、〇〇四	二二五、五〇〇	九二八、一五三	二二六、三三三	二二一、六三五	二二五、三六三	二二六、〇〇四
西臼杵	七〇	二六六七	二二	一〇九〇	九二	三七五七	二二六、〇〇四	二二五、五〇〇	九二八、一五三	二二六、三三三	二二一、六三五	二二五、三六三	二二六、〇〇四
合計	七六二	三、五三七、七	九二七	一、五二二、五	一、六八二	七、六九〇、二	二二六、〇〇四	二二五、五〇〇	九二八、一五三	二二六、三三三	二二一、六三五	二二五、三六三	二二六、〇〇四

郡名	舎數	坪數	補助額	全上	舎數	坪數	補助額	全上
南那珂	一八八	二八	三〇三、〇〇	一六一	二〇七	二八	三九五	一一〇
宮崎	二八	九一〇	七六、〇〇	二七一	二八二	二五	三〇〇	一五六一〇
北諸縣	一三六	八一六〇	七〇一、〇〇	五一五	四	七一	一八〇	一一二八〇
西諸縣	六三	四〇六〇	六〇〇、〇〇	九六八	九	六三〇	七二	四六九〇
東諸縣	一一五	五二三〇	一一五、〇〇	一〇〇	四	四五	四四九	二〇三三〇
兄湯	一五七	八八七〇	四九六、〇〇	三一六	二七	二二六〇	一八四	一〇一三〇
東臼杵	七〇	二六六七	四二〇、〇〇	六〇〇	二二	一〇九〇	九二	三七五七
西臼杵	七〇	二六六七	四二〇、〇〇	六〇〇	二二	一〇九〇	九二	三七五七
合計	七六二	三、五三七、七	二、七二一、〇〇	三、五七	九二七	一、五二二、五	一、六八二	七、六九〇、二

郡名	補助ニヨルモノ		否ラサルモノ		計
	舍數	坪數	舍數	坪數	
自明治十年至四年	棟	合	棟	合	
至四年	棟	合	棟	合	
至七年	棟	合	棟	合	
累計	棟	合	棟	合	
補助額	錢	錢	錢	錢	
全上平均	錢	錢	錢	錢	
建設費	錢	錢	錢	錢	
全上平均	錢	錢	錢	錢	

七、農家戸數對堆肥舍數調 (大正元年)

郡名	農家戸數	自明治十年至四年	自明治十年至七年	全四十一	全四十二	全四十三	全四十四	大正元	累計	農家百戸ニ對スル堆肥舍數
宮崎	九、八四四	棟	六、一四	棟	二、三〇	棟	二、二五	棟	一、六四三	一、六七
南那珂	八、六七一	棟	九、六	棟	五、一	棟	四、五	棟	三、九五	一一、三
北諸縣	一一、四三三	棟	二、三	棟	六、九	棟	一、一三	棟	一、〇三六	九、一
西諸縣	七、七〇六	棟	二	棟	二、一	棟	一、五	棟	二、二	二、八

台、計	東諸縣	兄湯	東臼杵	西臼杵	明治十四年	全四十二年	全四十一年	全四十年	全四十一年
七〇、六一三	四、八八二	一〇、三五八	一一、〇六三	五、六五六	七〇、七七五	七〇、〇七八	七〇、三三七	七〇、九四八	七〇、九四八
一、〇八七	三二	三三三			一、〇八七	一、〇八七	一、〇八七	一、〇八七	一、〇八七
五六〇	六四	三七	九八		五六〇	五六〇	五六〇	五六〇	五六〇
七〇〇	二九	一七四	一〇六		七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇	七〇〇
六九二	五七	二二〇	一〇四		六九二	六九二	六九二	六九二	六九二
二、二三一	二五二	四一四	四四五		二、二三一	二、二三一	二、二三一	二、二三一	二、二三一
一、六八二	四四九	一八四	九二		一、六八二	一、六八二	一、六八二	一、六八二	一、六八二
六、九五二	八八一	一、三五九	八四五		六、九五二	六、九五二	六、九五二	六、九五二	六、九五二
九、九	一八、〇	一三、〇	七、〇	〇、〇	九、九	九、九	九、九	九、九	九、九

八、綠肥栽培調 (大正元年)



附

錄



(一) 肥料取締法

(明治四十一年四月十一日法律第五十一號)

第一條

本法ニ於テ肥料ト稱スルハ植物ノ營養ニ供スル物料ヲ云フ

第二條

肥料ノ製造輸入移入又ハ賣買ヲ營業ト爲サントスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クベシ

肥料ノ調合又ハ製造業ニ伴フ肥料ト爲ルヘキ副産物ノ産出ハ之ヲ肥料ノ製造ト看做ス

前項ノ製造業及副産物ハ主務大臣之ヲ指定ス

第三條

前條第一項ノ免許願書ニハ製造者ニ在リテハ製造場ノ位置製造及藏置ニ關スル設備肥料ノ名稱及製造方法ヲ輸入者、移入者、又ハ賣買者ニ在リテハ肥料ノ名稱及營業所ノ位置ヲ記載スベシ

前項ニ依リ願書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第四條

肥料營業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ肥料ニ保證票ヲ添附スベシ

第五條

當該官吏ハ肥料營業者、運送業者又ハ倉庫業者ノ店舗倉庫、工場、船車等

ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ニ就キ檢査ヲ爲シ必要ナル分量ニ限り無償ニテ肥料又ハ製造原料ヲ收去スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際肥料ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第六條 肥料營業ノ免許ヲ受ケタル者正當ノ理由ナクシテ其免許ノ日ヨリ一年以内ニ開業セス又ハ一年以上其營業ヲ休止シタルトキハ地方長官ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第七條 肥料營業者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ公益上必要ト認ムルトキハ地方長官ハ免許ヲ取消シ又ハ營業ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ其營業者ニ對シ三年ヲ超過セサル期間肥料營業ニ關スル一切ノ行爲ヲ禁スルコトヲ得

第八條 植物ノ營養ニ供用スル物料ニシテ地方長官ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ得テ指定シタルモノハ之ヲ他ノ用途ニ供スル爲製造輸入移入又ハ賣買スル場合ニ限り本

法ヲ適用セズ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處シ其肥料及原料ハ刑法第十九條ノ物ニ非ル場合ト雖トモ之ヲ沒收スルコトヲ得

一、詐欺ノ行爲ヲ以テ免許ヲ受ケタル者

二、肥料ヲ偽造シ又ハ人ヲ欺罔スルノ目的ヲ以テ肥料ニ他物ヲ混和シタル營業者

三、偽造シ又ハ人ヲ欺罔スル目的ヲ以テ他物ヲ混和シタル肥料ヲ輸入移入又ハ授受シタル營業者

四、肥料ニ虛偽ノ保證票ヲ添附シタル營業者又ハ他人ノ保證票若シクハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ他ノ肥料ニ使用シタル營業者

五、虛偽ノ保證票ヲ添附シタル肥料又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ使用シタル肥料ヲ輸入、移入、又ハ授受シタル營業者

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ第一號乃至第四號ノ場合ニ於テハ其肥料及原料ガ刑法第十九條ノ物ニ非ルトキト雖トモ之ヲ沒收スルコトヲ得

一、免許ヲ受ケズシテ肥料營業ヲ爲シタル者

二、第七條ニ依ル命令ニ違反シタル者  
 三、免許又ハ認可ヲ受ケザル製造方法ニ依リ肥料ヲ製造シタル營業者  
 四、免許又ハ認可ヲ受ケザル肥料ヲ製造、輸入、移人又ハ賣買シタル營業者  
 五、認可ヲ受ケズシテ製造場ノ位置又ハ製造若ハ藏置ニ關スル設備ヲ變更シタル營業者

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一、第四條ニ依ル保證票ヲ添附セザル營業者

二、第五條ニ依ル處分ヲ拒ミタル者

第十二條 肥料營業者ガ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ヲ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ就テハ此限ニ非ス

第十三條 肥料營業者ハ其代理人戶主家族同居者雇人其他ノ從業者ニシテ其業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス

第十四條 明治三十二年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル

犯罪ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ於ケル肥料ノ製造販賣又ハ販賣ノ免許ノ効力ハ明治四十一年十二月卅一日限リトス

○勅令第六十六號 (明治四十一年六月二十七日)

肥料取締法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(二) 肥料取締法施行規則

(明治四十一年八月十三日農商務省令第十七號ヲ改正シ全年十月一日ヨリ施行)

第一條 肥料製造營業ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シ所轄地方長官ニ差出スヘシ

一、營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

二、營業所ノ位置

三、藏置所ノ位置

第二條 免許願書ニ記載スヘキ肥料ノ製造方法ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

六

一、原料ノ名稱

二、製造法ノ大要

三、第十三條第一項第一號又ハ第四號ニ該當スル肥料ニ在リテハ各原料ニ含有スル百分ノ一以上ノ窒素、磷酸、加里ノ最少量及同第四號ニ該當スル肥料ニ付角粉、蹄粉、皮粉、毛粉、羽粉、骨炭末、骨灰、「グアノ」其他之ニ類スル原料ヲ使用スル場合ニ在リテハ其配合歩合ノ最多量

四、保證票ヲ添附スヘキ肥料ニ在リテハ其ノ保證成分量

第三條 肥料ノ輸入、移入又ハ賣買ノ營業ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左

ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シ所轄地方長官ニ差出スヘシ

一、營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

二、藏置所ノ位置

三、製造者ノ氏名若ハ名稱及其主タル製造場所在地又ハ肥料生産地

四、賣買營業者ヲ除クノ外保證票ヲ添附スヘキ肥料ニ在リテハ其ノ保證成分量

第四條 地方長官肥料營業ノ免許又ハ認可ノ出願ニ對スル處分ノ爲メ必要ト認ムル

トキハ其ノ出願者ニ對シ肥料又ハ其ノ原料ノ提出ヲ命スルコトヲ得

前項 場合ニ於テ指定ノ期間内ニ肥料又ハ其ノ原料ヲ提出セサルキハ地方長官ハ免許願書又ハ認可願書ヲ却下スルコトヲ得

第五條 肥料營業ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ行商ヲ爲サントスルトキハ行商地ノ地方長官ニ願出テ行商鑑札ヲ受ケ之ヲ携帶スヘシ雇人其ノ他ノ從業者ヲシテ行商ヲ爲サシムル場合ニ於テハ各之ヲ携帶セシムヘシ

第六條 肥料營業ノ免許ヲ與ヘタル地方長官ノ所轄區域外ニ於テ行商スルノ目的ヲ以テ行商鑑札ノ下附ヲ出願セントスル者ハ願書ニ肥料營業ニ關スル免許願書認可願書及其添附書類並免許證及認可書ノ寫ヲ添へ行商地ノ地方長官ニ差出スヘシ前項ニ依リ地方長官ニ差出シタル書類ノ寫ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ直ニ其旨届出ツヘシ

第七條 行商地ヲ變更シタルトキ又ハ肥料營業者若ハ行商者ノ氏名、名稱若ハ住所ニ變更アリタルトキハ肥料營業者ハ二週間内ニ行商地ノ地方長官ニ鑑札ノ書換ヲ出願シ行商ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク鑑札ヲ返納スヘシ  
肥料營業者死亡シタルトキハ其ノ相續人行商者死亡シタルトキハ其ノ肥料營業者

七

前項ニ準シ遲滞ナク行商鑑札ヲ返納スヘシ

八

第八條 肥料ノ製造營業者第一條第二號ニ掲ケタル事項ヲ變更シ又ハ肥料ノ輸入、移入ノ營業者第三條第四號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ所轄地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 肥料營業者ハ第一條第一號、第三號、第三條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキ又ハ其營業ヲ廢止若ハ休止シタルトキハ二週間内ニ、其ノ休止シタル營業ヲ開始シタルトキハ直ニ各製造場營業所及藏置 所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

肥料營業者死亡シタルトキハ其ノ相續人ハ前項ニ準シ其ノ旨届出ツヘシ

第十條 肥料營業者其營業ノ免許又ハ肥料取締法第三條第二項若ハ本則第八條ノ認可アリタル場合ニ於テ其ノ製造場營業所、藏置所、カニ以上ノ道府縣ニ涉ルモノナルトキハ其ノ免許又ハ認可ノ日ヨリ二週間内ニ願書及其ノ添附書類免許書及認可書ノ寫ヲ添ヘ其ノ旨關係地方長官ニ届出ツヘシ

第十一條 肥料營業者ハ各製造場及營業所ニ其營業ニ關スル願書其添附書類免許書及認可書屈書又ハ其寫ヲ備ヘ置クヘシ

第十二條 左記ノ副産物ハ肥料取締法第二條第二項ノ副産物トス

一、大豆油粕、菜種油粕、棉實油粕、荳油粕、胡麻油粕、蓖麻子油粕、椰子油粕

落花生油粕、亞麻仁油粕、麻實油粕、植物雜油粕、米糠油粕

二、魚族荒粕、獸肉搾粕、蠶蛹油粕

三、硫酸「アンモニヤ」、加里鹽類

前項ノ副産物ヲ產出スル製造業ハ肥料取締法第二條第二項ノ製造業トス

第十三條 左記ノ肥料ヲ製造、輸入若ハ移入スル營業者ハ肥料ノ主成分量ヲ保證スル爲其ノ製造、輸入、若ハ移入後遲滞ナク保證票ヲ肥料ノ各容器ノ外部ニ容器ヲ使用セサルモノニ在リテハ各個ノ外部ニ添附スヘシ

一、過磷酸石灰、重過磷酸石灰、沈澱磷酸石灰、「トーマス」燐肥、硝酸鹽類、「アンモニヤ」鹽類、加里鹽類及化學的方法ニ依リ製造シタル肥料

二、骨粉、骨炭末、骨灰、「タンケージ」、乾血、「グアノ」、及特ニ粉碎シタル肥料

三、菜種油粕、棉實油粕、荳油粕、胡麻油粕、蓖麻子油粕、椰子油粕、落花生油

粕亞麻仁油粕、麻實油粕、植物雜油粕、米糠油粕

九

四、二種以上ノ肥料ヲ調合シタル肥料

肥料營業者ニシテ保證票ヲ添附シタル肥料ノ容器ヲ變更シ若ハ之ヲ開キ若ハ天災其ノ他特別ノ事故ニ因リ其ノ主成分量ニ異動ヲ生シタル場合又ハ保證票ヲ添附スヘキ肥料ニシテ其ノ添附ナキモノ若ハ保證票ニ第十五條第一項第一號乃至第五號ノ事項ノ記載ヲ缺キ若ハ其ノ記載ノ不明ナル保證票ヲ添附シタルモノヲ取得シタル場合ハ前項ノ規定ヲ準用ス保證票喪失シ若ハ著シク毀損汚染シタル場合亦同シ第十四條 地方長官必要ト認ムルトキハ前條ニ掲ケサル肥料ト雖農商務大臣ノ認可テ經テ肥料營業者ニ保證票ノ添附ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方長官必要ト認ムルトキハ其ノ肥料ニ含有スル百分ノ一未満ノ主成分量ト雖之カ記載ヲ命スルコトヲ得

第十五條 保證票ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一、保證票ナル文字
- 二、肥料ノ名稱
- 三、肥料百分中ノ主成分量
- 四、保證票ヲ添附スル者ノ氏名又ハ名稱主タル營業所ノ位置及營業種別

五、前各號ノ外肥料製造ノ營業者ニ在リテハ其ノ肥料ノ製造年月及製造場ノ所在地、輸入、移入ノ營業者ニアリテハ肥料ノ輸入若ハ移入ノ年月仕入先肥料賣買ノ營業者ニ在リテハ其ノ肥料ノ製造、輸入若ハ移入ノ營業者ノ氏名若ハ名稱又ハ仕入先及保證票添附ノ年月

前項第三號ノ主成分量ハ其ノ肥料ニ含有スル百分ノ一以上ノ窒素、磷酸、加里ノ各全量ノ最少量ヲ記載スヘキモノトシ尙窒素ニ在リテハ硝酸性、及「アンモニア」性窒素ノ各最少量ヲ記載シ磷酸ニ在リテハ水ニ溶解スル磷酸ト水ニ溶解セスシテ枸橼酸「アンモニア」ニ溶解スル磷酸トノ和ノ最少量ヲ可溶解磷酸ノ量トシテ記載スヘシ但シ磷酸二石灰、磷酸四石灰ヲ磷酸ノ主成分トスル肥料ニ在リテハ磷酸ハ其ノ全量ノ最少量ノ外枸橼酸ニ溶解スル磷酸ノ最少量ヲ記載スヘシ

第十五條ノ二 左記ノ肥料ニ在リテハ其ノ下ニ掲クル主成分ノ最少量ヲ記載シテ前條ノ記載ニ代フルコトヲ得

「アンモニア」鹽類、  
硝酸 鹽 類、

「アンモニア」性窒素  
硝酸 性 窒 素

石 灰 窒 素、 窒 素 石 灰、  
 肉 粉、 乾 血、  
 角 粉、 蹄 粉、 窒 素 全 量  
 皮 粉、 毛 粉、  
 羽 粉、  
 骨 炭、 骨 灰、 磷 酸 全 量  
 骨 粉、 「タンケージ」、  
 粉 未 魚 肥、 榨 油 粕、 窒 素 全 量 及 磷 酸 全 量  
 粉 未 魚 肥、 榨 油 粕、

第十六條 保證票ニハ前條ニ規定シタル事項及商標、商號、電話番號ノ外他ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ス但シ原料ノ名稱及其ノ配合歩合ト併セテ有機性窒素ノ最少量ヲ記載スルコトヲ妨ケス

第十七條 検査ノ爲必要ナル肥料又ハ其ノ原料ヲ收去セムトスルトキハ其ノ肥料又ハ原料ノ存在スル場所ノ所有者、借主、管理者、從業者、同居者若ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

收去シタル肥料又ハ原料ハ之ヲ容器ニ密封シ之ニ肥料又ハ原料ノ名稱肥料營業者ノ氏名若ハ名稱、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏及立會人之ニ署名封印スヘシ立會人署名封印セス又ハ署名封印スルコト能ハサルトキハ其ノ旨附記スヘシ

第十八條 臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第十九條 肥料營業者ニシテ肥料ヲ輸入若ハ移入スルトキ又ハ輸入港若ハ移入港ニ於テ輸入若ハ移入ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱數量仕入先並陸揚ノ場所及年月日ヲ陸揚地ノ地方長官ニ届出ツヘシ但シ大豆油粕ニ付テハ此ノ限ニアラス

第二十條 肥料營業者ハ各營業所ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ讓受ケ若ハ肥料營業者ニ之ヲ讓渡ス毎ニ其ノ名稱、數量、價額、年月日、相手方ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

肥料製造營業者ハ前項ノ外其ノ製造場ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ製造スル毎ニ其ノ名稱數量、及年月日ヲ記載スヘシ

前二項ノ帳簿ハ之ニ最終ノ記載ヲ爲シタル日ヨリ二年以上之ヲ保存スヘシ

第二十一條 肥料ノ製造、輸入、又ハ移入ノ營業者ハ各營業所ニ於テ前年中ニ製造輸入又ハ移入シタル肥料ノ名稱別ノ數量及價額ヲ製造、輸入又ハ移入ニ區別シ毎年二月末日迄ニ其ノ各營業所所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

肥料製造營業者ハ各製造場ニ於テ前年中ニ製造ノ原料ニ供シタル肥料ノ名稱別ノ數量及價額ヲ前項ノ届出ト同時ニ届出ツヘシ

營業者其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ其ノ届出ト同時ニ前各項ニ準シ届出ツヘシ

營業者死亡シタルトキハ相續人ヨリ其ノ届出ト同時ニ前各項ニ準シ届出ツヘシ

第二十二條 肥料營業ノ免許認可其ノ取消又ハ其ノ營業ノ停止又ハ制限又ハ營業ニ關スル行為ノ禁止ニ關スル處分ハ製造營業ニ在リテハ主タル製造場所在地、輸入移入又ハ賣買ノ營業ニ在リテハ主タル營業所所在地ノ地方長官之ヲ行フモノトス

第二十三條 削除

第二十四條 第五條、第七條乃至第十一條、第十六條、第十九條乃至第二十一條又ハ第二十六條第二項ニ違反シタル者又ハ肥料ノ効能ヲ誇稱シテ虚偽ノ廣告ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附則

第二十五條 本則ハ肥料取締法改正法律施行ノ日ニリ之ヲ施行ス

第二十六條 本則施行ノ當時保證票ノ添附アル肥料ヲ所有スル肥料營業者ハ明治四十二年二月末日迄本則ニ依リ更ニ保證票ヲ添附スヘシ

肥料營業者ハ本則施行後二週間内ニ前項肥料ノ名稱及數量ヲ其ノ肥料存在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

(三) 肥料取締法施行細則 (大正元年十月五日 宮崎縣令第七號)

第一條 肥料營業ヲ免許シクルトキハ免許證ヲ下附ス

第二條 免許ヲ受ケタル者營業事項ノ變更認可ヲ出願スルトキハ免許證ヲ添附スヘシ

前項ノ認可ヲ與ヘタル事項ハ之ヲ免許證ニ記載ス

第三條 肥料營業者免許證及行商鑑札ヲ喪失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ再下附ヲ願出ツヘシ

前項毀損セル免許證及行商鑑札ハ願書ニ添附シテ返納スヘシ



準禁治産者若ハ妻タルモノ、願書ニハ其ノ保佐人又ハ其ノ夫タル者連署スヘシ  
第五條 免許ヲ受ケタルモノハ免許ノ日ヨリ十日以内ニ營業所、製造場及藏置所ノ  
看易キ場所ニ標札ヲ掲ケヘシ

第六條 營業者直接管理ヲ爲サ、ル營業所、製造場及藏置所ニハ豫メ管理者ヲ定メ  
連署ヲ以テ知事ニ届出ツヘシ其ノ管理者ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七條 營業ヲ廢止シタルトキ又ハ免許ノ取消ヲ受ケタルトキ及營業者死亡シタル  
トキハ遲滞ナク免許證ヲ返納スヘシ但シ營業者死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人ヨ  
リ之ヲ爲スヘシ

第八條 肥料取締法第六條又ハ第七條ノ處分ヲ通達スル能ハサルトキハ之ヲ告示シ  
其ノ告示日ヨリ十四日ヲ經過シタルトキハ之ヲ通達シタルモノト看做ス

第九條 肥料ノ主成分量ニ異動ヲ生スヘキ事故ニ遭遇シタルトキハ直ニ其ノ肥料ノ  
名稱別ニ數量ヲ知事ニ届出ツヘシ

第十條 肥料營業ニ關スル願書及届書ハ所轄町村役所場及郡役所ヲ經由スヘシ  
第十一條 肥料營業ニ關スル願、届、帳簿、保證票及標札ハ左ノ様式ニ據ルヘシ

第一號様式

二、肥料賣買營業免許願

第二號様式

三、肥料營業所ノ位置(肥料ノ名稱、製造方法、製造場ノ位置、製造ニ關スル設備)  
變更認可願 第三號様式

四、肥料名稱追加(削除)認可願 第四號様式

五、藏置所ノ位置(製造者ノ氏名若ハ名稱及製造場所在地又ハ肥料生産地、肥料營  
業者ノ氏名、名稱若ハ住所)變更届 第五號様式

六、肥料營業廢止届 第六號様式

七、肥料製造場(營業所、藏置所)管理人届 第七號様式

八、標札 第八號様式

九、保證票 第九號様式

一〇、帳簿 第一〇號様式

一一、肥料製造高届 第一一號様式

第十二條 第五條乃至第七條及第九條ノ規定ニ違反シタル者ハ拘留若ハ科料ニ處ス  
第一號様式

肥料製造營業免許願

- 一、製造場ノ位置  
縣、郡、町村大字番地(ニケ所以上設クルトキハ列記スヘシ)
- 二、製造ニ關スル設備  
製造ニ關スル工場、器具、器械其ノ他製造上必要ナル設備ヲ記シニケ所以上設クルトキハ各別ニ其ノ設備ヲ記スヘシ
- 三、藏置ニ關スル設備  
家屋ノ構造並屋根、壁、床ノ構造ヲ箇所ヲ異ニスル毎ニ各別ニ記スヘシ
- 四、肥料ノ名稱(ニ以上アルトキハ列記スヘシ)
- 五、製造方法(肥料名稱別ニ記スヘシ)  
肥料ノ名稱 何々  
イ、原料ノ名稱 何々 何々  
ロ、製造法ノ大要 原料ヨリ製造完成ニ至ルマテノ大要ヲ記スヘシ  
ハ、保證成分量(施行規則第十三條ニ該當セサルモノ) 窒素全量% 磷酸全量% 加里全量% (百分ノ一以上ノ最少量ノ記スヘシ)

硝酸性窒素及安母尼亞性窒素ヲ含有スルモノニアリテハ其ノ最少量、可溶解磷酸(水ニ溶解スル磷酸ト水ニ溶解セスシテ枸橼酸アンモニニアニ溶解スル磷酸トノ和)ノ最少量  
 磷酸ニ石灰及磷酸四石灰ヲ主成分トスル肥料ニアリテハ枸橼酸ニ溶解スル磷酸ノ最少量  
 (施行規則第十三條第一號及第四號ニ該當スルモノハ以上ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ)  
 ニ、原料ニ含有スル百分ノ一以上ノ窒素、磷酸加里ノ最少量  
 何々 窒素 % 磷酸 % 加里 %  
 何々 全 全 全  
 (施行規則第十三條第四號ニ該當スル肥料ニシテ全則第二條第三號ニ指定セル原料ヲ使用スルモノハ以上ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ)  
 ホ、原料ノ配合歩合ノ最多量  
 何々 幾貫目 何々 幾貫目  
 右製造營業致度候間御免許相成度別紙肥料取締法施行規則第一條ニ據ル書面相添此

段相願候也

二〇

知事宛  
年月日

本住族

籍所籍

氏

名

⑩

年月日生

肥料製造營業免許願添附書

一、營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

縣郡町村大字番地何某又ハ何會社

二、營業所ノ位置

縣郡町村大字番地(二以上設ケントスル  
トキハ列記スヘシ)

三、藏置所ノ位置

縣郡町村大字番地(右ニ同シ)

右ノ通相違無之候也

年月日

右

何

某

⑩

知事宛

第二號様式

肥料賣買營業免許願

一、肥料ノ名稱

何々

何々

二、營業所ノ位置

縣郡町村大字番地(ニケ所以上設ケントス  
ルトキハ列記スヘシ)

右肥料賣買營業致度候間御免許相成度別紙肥料取締法施行規則第三條ニ據ル書面相

添へ此段相願候也

年月日

本住族

籍所籍

氏

名

⑩

年月日生

肥料賣買營業免許願添附書

一、營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

二

縣郡町村大字番地 何某又ハ何會社

二、藏置所ノ位置

縣郡町村大字番地(ニケ所以上設ケントス  
ルトキハ列記スヘシ)

三、製造者ノ氏名又ハ名稱及其ノ主タル製造所々在地又ハ肥料ノ生産地

何々(保證票ニ記シタル肥料ノ名稱又ハ免  
許ヲ受ケタル肥料ノ名稱ヲ記スヘシ)

縣郡市町村大字番地何某又ハ何會社製造

何々 前全

右之通相違無之候也  
(免許ヲ受ケタル一定ノ製造者ナキ肥料ニアリテハ其ノ生産地名ヲ記スヘシ)

知事宛 年 月 日

右 何 某 印

第三號様式

肥料營業所ノ位置(肥料ノ名稱)(製造ノ方法)(製造場ノ位置)  
(製造ニ關スル設備)(藏置ニ關スル設備)變更認可願

一、營業所ノ位置

既ニ免許又ハ認可ヲ受ケタル通朱書シ變更セントスル通墨書スヘシ(以下各項同シ)

今般右墨書ノ通變更致度候間御認可相成度此段相願候也

年 月 日

住所 縣郡町村大字番地

肥料製造(賣買)營業者

氏 名 印

知事宛

第四號様式

肥料名稱追加(削除)認可願

一、追加(削除)肥料ノ名稱並製造者ノ氏名若ハ名稱及其主タル製造場所在地又ハ肥料生産地

(製造者ニシテ追加ノ場合ニアリテハ様式第一號ニ於ケル製造方法ノ各事項ヲ記載スヘシ)

今般右ノ通肥料ノ名稱追加(削除)致度候ニ付御認可相成度此段相願候也

年 月 日

住所 縣郡町村大字番地

肥料製造(賣買)營業者

氏

名 印

知事宛

第五號様式

藏置所ノ位置(製造者ノ氏名若ハ名稱)(製造場所在地)

(肥料生産地)(肥料營業者ノ氏名、名稱、住所)變更届

一、藏置所ノ位置

前願、届出ノ通朱書シ變更セントスル通墨書スヘシ(以下各項同シ)

今般右墨書ノ通變更致候間此段及御届候也

年 月 日

住所

肥料製造(賣買)營業者

氏

名 印

知事宛

第六號様式

肥料營業廢止届

一、肥料賣買(製造)營業

右今般廢業仕候間免許證(製造者ニアリテハ肥料製造高届肥料原料供用高届)相添此段及御届候也

年 月 日

住所

肥料賣買(製造)營業者

氏

名 印

知事宛

(注意) 肥料製造高届及原料供用高届ハ肥料ノ名稱別ニ數量價額ヲ記入スルヲ要ス

第七號様式

肥料製造場(營業所)(藏置所)管理者届

一、肥料製造場(營業所)(藏置所)位置

右管理者 本籍

本籍

縣郡町村大字番地

氏名

年月日生

今般右ノ通管理者相定メ候ニ付連署ヲ以テ此段及御届候也

年 月 日

住所

肥料製造(賣買)營業者

氏名

住所

管理者 氏名

第八號様式

知事宛

標札

三、尺

一 所在地 郡町村大字番地

肥料營業所

住所 郡町村大字番地  
肥料製造(賣買)營業氏名

全

所在地 郡町村大字番地

肥料製造場

住所 郡町村大字番地  
肥料製造營業氏名

全

所在地 郡町村大字番地

肥料藏置所

住所 郡町村大字番地  
肥料製造(賣買)營業氏名

備考 製造場、營業所及藏置所ノ位置全一場所ナルトキハ一枚ノ標札ニ併記ス  
ルモ差支ナシ

第九號様式

保證票

一、製造營業者ノ分

保證票

一、何々(肥料ノ名稱ヲ記ス)  
 原品百分中ノ主成分量  
 窒素全量 ○○○○  
 磷酸全量 ○○○○  
 何々  
 何々  
 大正 年 月 製造  
 製造場位置 縣郡町村大字番地  
 主タル營業所ノ位置 縣郡町村大字番地  
 住所  
 肥料製造營業 氏 名

主成分ハ其ノ肥料ニ保證スヘキ成分ヲ悉ク記載スヘシ

二、賣買營業者ノ分

保證票

一、何々(肥料ノ名稱ヲ記ス)  
 原品百分中ノ主成分量

窒素全量  
 アンモニア性窒素量  
 硝酸性窒素量  
 磷酸全量  
 可溶性磷酸量  
 枸橼酸ニ溶解スル磷酸量  
 加里全量  
 肥料製造營業者  
 仕入先  
 府縣郡町村大字番地  
 氏名又ハ名稱  
 氏名又ハ名稱  
 大正 年 月 添附  
 主タル營業所ノ位置 縣郡町村大字番地  
 住所  
 肥料賣買營業 氏 名

主成分ハ其ノ肥料ニ保證スヘキ成分ヲ悉ク記載スヘシ

第十號様式 帳簿

一、肥料讓受簿

讓受 年月日	肥料 名稱	數量		價額	相手方住所 氏名
		筒數	重量		
年月日					
月計					
通計					

一、肥料名稱ヲ異ニスル毎ニ口座ヲ設ケ又同名稱ノモノト雖製造者ヲ異ニスルト  
キ及内國產ト外國產並販賣スルモノト製造原料ニ供スルモノハ別口座ヲ設ケテ  
記載スヘシ

一、筒數ハ容器ヲ用フルモノハ容器數ヲ記スヘシ  
一、重量ハ筒數ニ對スル總重量ヲ記スヘシ

二、肥料讓渡簿

讓渡 年月日	肥料 名稱	數量		價額	相手方住所 氏名
		筒數	重量		
年月日					
月計					
通計					

一、肥料名稱ヲ異ニスル毎ニ又同名稱ノモノト雖製造者ヲ異ニスルトキハ別ニ口  
座ヲ設ケ記載スヘシ  
一、筒數ハ容器ヲ用フルモノハ容器數ヲ記スヘシ  
一、重量ハ筒數ニ對スル總重量ヲ記スヘシ

三、肥料製造簿

製造 年月日	肥料 名稱	數量		摘 要
		筒數	重量	
年月日				
月計				
通計				



年	月	通計
日	計	計

一、肥料名稱ノ異ナル毎ニ口座ヲ設クヘシ  
 一、筒數及重量ニ關シテハ讓受簿ニ全シ  
 第十一號様式

一、大正何年中肥料製造高届

何々	何々	肥料名稱		價	額
		筒數	重量		

何々	合計

一、肥料ノ名稱別ニ一々年中ノ製造總額ヲ記シ合計欄ニハ各肥料ノ合計ヲ記スヘ  
 右及御届候也

知事 宛  
 二、大正何年中肥料製造原料用肥料使用高届  
 住所 肥料製造業者 氏名 印  
 年 月 日

何々	何々	肥料名稱		價	額
		筒數	重量		

露光量違いの為重複撮影

547

合計	何々

三四

一、肥料名稱同一ノモノト雖製造者ヲ異ニスルトキ及内國産ト外國産トハ別々ニ  
 一ヶ年中ノ總額ヲ記シ合計欄ニ各肥料ノ合計ヲ記スヘシ  
 右及御届候也

知事宛

住所  
 肥料製造業者 氏 名 印

(四) 指定肥料 (大正元年十月廿四日宮崎縣告示第百十四號)  
 肥料取締法第八條ニ據ル指定肥料左ノ通定ム  
 米糠、麥糠、燒酎粕、酒粕、醬油粕、酢粕、澱粉粕、蠟粕、蠶蛹、灰類

大正二年十二月二十日印刷  
 大正二年十二月二十五日發行

宮崎縣内務部

宮崎縣宮崎町字上野町二丁目  
 印刷者 赤澤吉郎  
 印刷所 赤澤印刷所

露光量違いの為重複撮影

647

合計	何々

三四

一、肥料名稱同一ノモノト雖製造者ヲ異ニスルトキ及内國產ト外國產トハ別々ニ  
一々年中ノ總額ヲ記シ合計欄ニ各肥料ノ合計ヲ記スヘシ  
右及御届候也  
年 月 日 住所

知事宛 肥料製造營業者 氏 名 印

(四) 指定肥料 (大正元年十月廿四日宮崎縣告示第百十四號)

肥料取締法第八條ニ據ル指定肥料左ノ通定ム  
米糠、麥糠、燒酎粕、酒粕、醬油粕、酢粕、澱粉粕、蠟粕、蠶蛹、灰類

大正二年十二月二十日印刷  
大正二年十二月二十五日發行

宮崎縣內務部

宮崎縣宮崎町字上野町二丁目  
印刷者 赤澤吉郎  
印刷所 赤澤印刷所

終

